

PT Perusahaan Gas Negara Tbk との共同事業実施の協定書締結 -PGN との協働によるインドネシア国のガスバリューチェーン整備・効率化事業-

JCCP は、令和 2 年 10 月 19 日、インドネシア共和国の PT Perusahaan Gas Negara Tbk (PGN) と「PGN との協働によるインドネシア国のガスバリューチェーン整備・効率化事業」について、PGN のシャヒラル・ムクタ副社長 (Mr. Syahril Mukhtar, Director of Strategy and Business Development)、JCCP 平岡英治常務理事による事業実施協定書 (FORM of AGREEMENT) の調印式を開催しました。COVID-19 の影響のため、本調印式は Web 会議システムを使用してリモートで執り行いました。

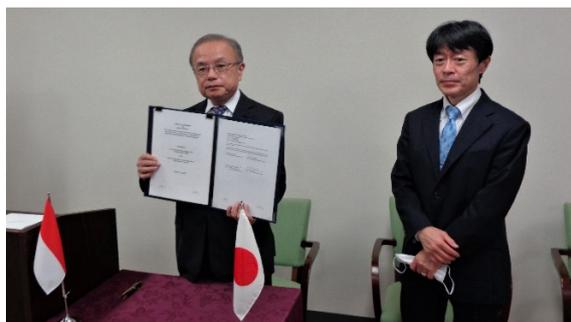
調印式にはさらに、PGN および JCCP の関係者をはじめ、共同事業の参加会社である国際石油開発帝石株式会社の矢嶋慈治取締役専務執行役員他、事業関係者約 20 名が出席しました。

シャヒラル・ムクタ副社長はスピーチの中で今までの日本の協力に対する感謝の意と本事業への期待を述べられました。

JCCP はインドネシアで 1998 年以降、プルタミナグループと 11 のプロジェクトを実行してきました。本事業は天然ガス分野での初のプロジェクトであり、インドネシア国内のみならず近隣諸国を含めたガスバリューチェーン整備・効率化を図るものです。本事業には国際石油開発帝石株式会社が参加し、同社が保有している LNG 関連の経験と技術を活用して推進します。本事業の推進により、プルタミナグループの競争力強化に寄与することが期待されます。なお、本事業の実施期間は 2020 年度から 2022 年度までを予定しています。



調印風景



(技術協力部)